

02-015

フードバンクによる学習支援の取り組み

小島 令嗣¹、米山 けい子²

¹山梨大学大学院 社会医学

²フードバンク山梨

生活困窮世帯の子どもへの支援としては、家庭への食糧支援や子ども食堂のほか、学習支援も重要な支援と考えられるが、その報告は限られている。フードバンク山梨は2017年度より学習支援を実施しており、今回は2018年度の取り組みを紹介する。対象者は小学校1年生から中学生までの同バンクから食料支援を受けたことのある生活困窮世帯の子どもである。毎週土曜日の午前中に教員OBを中心としたボランティアが、公民館で個別に宿題などの学習指導を行っている。学習後は食事ボランティアによる昼食の提供があり、午後は子どもの遊ぶ時間としている。「子どもの居場所作り」が、本事業の主な目的となっている。運営は同バンクのスタッフがやっているが、年2回程度ボランティア意見交換会を開き、運営方針の参考としている。集中しない子どもへの対応などの課題もあるが、運営スタッフとボランティアが模索しながら、より良い学習支援をめざして取り組んでいる。